#### 工業団地便り



### 2024年3月号

# 伸び続ける熱い国:ベトナムの「今」!

平素より大変お世話になっております。住友商事 海外工業団地部の山中です。

1月には台湾、2月には大阪でベトナムの投資環境や当社工業団地について ご紹介するセミナーを実施し、ありがたいことに国内外から多くのご相談を頂戴しております。

今回の工業団地便りはそんな盛り上がりを見せるベトナムがテーマです!

駐在員コラムでは、山口駐在員が肌で感じるベトナムの熱量、当社タンロン工業団地の 近況についてご紹介致します。

住商グローバルリサーチ シニアアナリストの石井氏による特別コラムでは、成長を続ける ベトナムの景況感、投資環境、政治の動向等から読み解く「ベトナムの今」をお届けします。 では、今月の工業団地便りをお楽しみください!

## 【今月の駐在員コラム】

ベトナム・タンロン工業団地 山口

昨年12月よりタンロン工業団地に赴任いたしました山口と申します。

赴任前にも、観光含め 5 回訪れたことがありましたが、ベトナムという国がとても好きです。

ハノイの通りを歩いていると何とも言えない謎の臭いがしたり、狭い通りをオートバイが縦横無尽に駆け巡っていたり、道は所々ぼこぼこしていて気をつけて歩かないと足がはまってしまいます。出張で夏場に訪れた際は、外はサウナのよう蒸し暑く生きているだけで褒めてもらいたい

気持ちになりました。

気になる点を数え始めたらきりがなく、決してパーフェクトな国とは言いづらいかもしれませんが、だからこそどこか親しみやすかったり、完璧なんてないんだからなんでもやっていいんだよ

と言ってもらえているような気がします。

おります。

こちらに来てベトナム人、特に若い方の熱量を強く感じます。

ご入居企業様の中には以前日本工場でベトナム人実習生を受け入れ、彼らのやる気や真面目さ

惹かれ、海外進出先を検討する際にベトナムを選んだという企業様もいらっしゃいますし、 ご入居企業様にはほぼ日本語を話せるベトナム人の方がいらっしゃり、日本語の習得にも熱心 だそうです。彼らの熱量やハングリー精神を肌で感じながら日々刺激的な毎日を過ごしており ます。

そんな魅力が詰まったベトナムの勢いに負けじと、当社タンロン工業団地でも新しい試みを行っております。グリーン電力となる屋根置き型太陽光パネルの設置事業や、ご入居企業様の D X 化推進の一丁目一番地となる製品のリリース、再工ネ電力証書の取得を支援する取り組みなどを実施して

しかし、これらの取り組みもすべて、ご入居企業様なくしては始まりません。 タンロン工業団地のスローガンは「その仕事で、この国に何を残せるだろう。」 こんなスローガンのもと、この国の未来を一緒に考えていただける企業様を募集しておりま す。 現在、第二タンロン工業団地では、第三期拡張開発として約 180ha の開発工事を行っており

ます。一部先行区画については、徐々にお客様へ土地のお引き渡しを開始しておりますが、ま

だまだ

ご案内できる区画が多くございます。

百聞は一見に如かず、まずはタンロン工業団地を見ていただきたいと思いますので、皆様の ご来訪をお待ち申し上げます!





# 【特別コラム】

# 国際的な存在感を高めるベトナム

住友商事グローバルリサーチ シニアアナリスト 石井順也

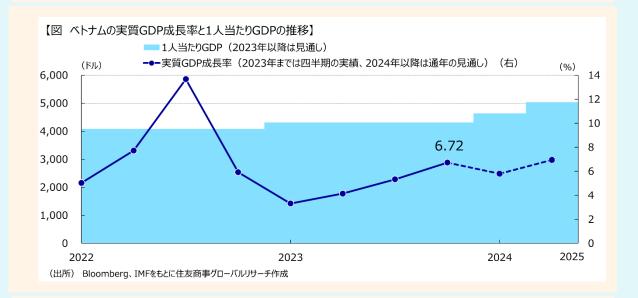
https://www.scgr.co.jp/analyst/junya\_ishii/

ベトナムの 2023 年の実質 GDP 成長率は前年比+5.05%となり、前年(同+8.02%)から減

速

しました。世界経済の減速に伴い、輸出が落ち込んだことが響きました。しかし年後半から は、

外需の回復に伴って輸出が回復し、堅調な内需に支えられながら、期を追うごとに成長率は加速を続け、第4四半期(10~12月期)には前年同期比+6.72%に達しました(図参照)。



インフレについては、年初めには、燃料価格の高騰や通貨安により、消費者物価指数(CPI) 上昇率(前年同月比)が政府目標(+4.5%)を上回りましたが、燃料価格の下落に伴って低 下し、通年では前年比+3.25%にとどまりました。年間の外国人旅行者数は1,260 万 2,400 人

(前年比3.4倍)に上り、インバウンド需要も拡大を続けています。2024年もこうした堅調

回復は続き、+6%台の成長に戻ることが予想されます。

政治面では、最高指導者であるベトナム共産党のグエン・フー・チョン書記長の健康不安説が年末年始に流れましたが、同書記長は1月に国会で姿を現し、健在をアピールしました。 79歳と高齢であるため、任期途中に退任する可能性は十分にありますが、その場合、ボー・バン・トゥオン国家主席が書記長代行を務め、政治的な混乱や大きな政策の変化は生じないと予想されます。

なおトゥオン主席は昨年 11 月に訪日して岸田首相と会談しており、日越両国はその関係を「包括的戦略パートナーシップ」に格上げしました。9 月には米国のバイデン大統領がベトナムを訪問し、米越もその関係を「包括的戦略パートナーシップ」に格上げしています。12 月には中国の

習近平国家主席がベトナムを訪問し、中越は経済関係の強化で一致しました。このように米中 日の首脳外交が相次ぎ、それぞれの国との関係強化が謳われたのは、ベトナムの国際社会にお ける

存在感の高まりを象徴する動きだったといえます。

2023 年の海外直接投資の認可額は 367 億ドルに上り、2020 年以降では最大となりました。 昨年度の国際協力銀行(JBIC)による日本の製造業の海外事業展開に関するアンケートによれば、中期的(今後 3 年程度)の有望な事業展開先国としてベトナムはインドに次ぐ 2 位とされています。米中の戦略的競争の激化やサプライチェーンの再編の動きの中で、ベトナムは 自らに有利な国際的環境を享受し、生産拠点としての魅力をさらに高めていると考えられます。こうした傾向は今後も続き、世界で最も有望な新興国の一つとしての地位を固めていくことが期待されます。

# 【各国工業団地の販売状況】



### フィリピン

Oファーストフィリピン工業団地 (FPI

P)



Oファーストインダストリアルタウンシ

ップ(FIT)

- ·貸工場 約 1,000~30,000 ㎡紹介中
- ・土地 紹介中



### バングラデシュ

Oバングラデシュ経済特区(BSEZ)

- ・2022 年 12 月開所
- ・第1期、第2A期区画につき販売中

(現在、第1期4社、第2A期1社の企業様が

入居)

\*BSEZ HPが開設されました!

リンク⇒https://bsezltd.com/ja/

工業団地の設備面のご紹介に加え、空き区画のご紹介や、現場写真、ニューストピックスについても随時更新を行っていきます。是非ご覧ください。

#### インド

Oオリジンズ・チェンナイ工業団地

・第一期区画につき紹介中

(現在、13 社の企業様が入居)





### ベトナム

### <ハノイ周辺>

○タンロン工業団地(TLIP)

- ・土地・貸工場は満床
- ・貸事務所 紹介中

#### ○第二タンロン工業団地(TLIPⅡ)

・第一期、第二期の土地・貸工場は満

#### 床

・第三期区画の拡張開発中、2024年

#### 操業

#### 開始予定

- ・貸工場増床中
- ・貸事務所 紹介中

#### ○第三タンロン工業団地(TLIPⅢ)

- ・土地・貸工場 満床
- ・貸工場増床中
- · 貸事務所 紹介中

最新の販売状況については都度ご案内させて 頂けますと幸いです。お気軽にお問合せくだ さい。



#### <中部>

○クアンチ工業団地 (QTIP)

- ・2023年12月開所
- ・第一期区画につき紹介中。

(現在、5社の企業様が入居予定)

#### インドネシア

Oイーストジャカルタ工業団地 (EJIP)

- ·貸工場 1,590~3,000 ㎡紹介中
- ・基本的に用地は完売済みですが、用地

/建屋の売買のご案内ができる場合もご

ざいますので、 ご興味がございました

らお気軽にお問い合わせ下さい。





#### ミャンマー

Oティラワ経済特別区(Thilawa SE

Z)

· 土地 紹介中。

- ·貸工場 延床 880~6,000 ㎡紹介中
- ·貸工場紹介動画:https://youtu.be/

dyqCdg330n8

# 【各国工業団地資料】

\*クリック頂くと HP 掲載資料/紹介ページにアクセスできます。

第二タンロン工業団地

第三タンロン工業団地

オリジンズ・チェンナイ工業団地

ティラワ経済特別区

イーストジャカルタ工業団地

ファーストフィリピン工業団地

バングラデシュ経済特区

その他詳細な情報や区画照会等のご要望がございましたら弊方までお気軽にご連絡くださ

い。

今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

住友商事株式会社

海外工業団地部 山中

## お問合せはこちら

CONTACT INFO.

住友商事 海外工業団地部

E-mail: scip-info@sumitomocorp.com



#### 【注記】

1. 本メールは住友商事株式会社 海外工業団地部の職員と名刺交換をさせて頂きましたお客様宛に配信させて頂いております。本メールにお心当たりがない場合、或いは、今後弊社からのお知らせの配信停止を希望する場合は、こちらからお手続きをお願いいたします。

配信停止までの間に他のお知らせが配信されることがございますが、予めご了承願います。

(上記へアクセス出来ない方のみ nanako.yamanaka@sumitomocorp.com 宛に空メールをお送りください。)

2. 本メールは、あくまで情報提供を目的に作成されたものです。本レポートは弊社工業団地事業会社の最新、及び公開情報に基づいて作成しておりますが、その情報の正確性・完全性を保証するものではありません。また、本メール内のトピックスは執筆者の独自の見解に基づき作成されたものであり、弊社の統一された見解では御座いません。(転送の禁止)

皆様のお役に立てる情報、コンテンツを充実させることが出来る様、執筆者一同精進いたします由、 引き続き何卒よろしくお願い申し上げます。



Copyright (C) 2024 Sumitomo Corporation. All Rights Reserved.